



2024年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月10日

上場会社名 旭コンクリート工業株式会社
コード番号 5268 URL <https://www.asahi-concrete.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 狩野 聖太郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 大館 一夫
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3542-1206

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	7,071	7.4	412	19.3	467	8.5	337	8.4
2023年3月期	6,584	1.8	345	5.6	430	10.3	311	0.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	25.68		3.2	3.4	5.8
2023年3月期	23.70		3.0	3.2	5.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	14,416	10,853	75.3	825.51
2023年3月期	13,480	10,365	76.9	788.43

(参考) 自己資本 2024年3月期 10,853百万円 2023年3月期 10,365百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	414	42	186	2,588
2023年3月期	740	352	191	2,402

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期				13.00	13.00	170	54.9	1.6
2024年3月期				18.00	18.00	236	70.1	2.2
2025年3月期(予想)				14.00	14.00		57.5	

(注) 当社は、2023年11月14日をもちまして創立100周年を迎えることができましたことから、株主の皆様へ感謝の意を表すため、2024年3月期の期末配当は、1株あたり13円の普通配当に加え、5円の記念配当を実施いたします。なお、2025年3月期(予想)の期末配当につきましては、堅調な業績に応じた利益還元を勘案し、当社の配当に関する方針であります安定配当を継続することで、株主の皆様のご支援に対し感謝の意を表したく、2024年3月期の普通配当に比べ1円増配することといたしたいと存じます。

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	1.3	170	29.1	220	25.4	150	34.5	11.41
通期	7,200	1.8	420	1.8	480	2.6	320	5.2	24.34

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	13,233,000 株	2023年3月期	13,233,000 株
期末自己株式数	2024年3月期	85,722 株	2023年3月期	85,632 株
期中平均株式数	2024年3月期	13,147,354 株	2023年3月期	13,147,368 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(持分法損益等)	13
(1株当たり情報)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症感染症法における分類が5類に移行後、企業収益の改善、個人消費の回復が見られるものの、原材料、エネルギー価格の上昇にともなう物価上昇、また、円安の進行による経済環境への影響、雇用環境の変化などが加わり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社の関連するコンクリート製品業界においては、都心部での駅前再開発事業、物流倉庫・工場の建設等が引続き好調に推移しました。土木案件では国土強靱化計画の推進により、災害対策の工事は堅調に推移したものの、原材料高騰による原価上昇、受注競争の激化などにより厳しい状況が続きました。

このような厳しい状況の中、当社は原価低減に取り組む一方、受注に繋げる設計織込み活動、工期短縮に資するプレキャスト化の提案に、CIM（3D空間モデル、3Dプリンターモデル等のデジタル技術）を活用するなどの取り組みを、販売・設計部門が一体となって積極的に行いました。

こうして取り組んだ結果、当事業年度は、売上高は70億7千1百万円と前期比7.4%の増収となり、損益面では、営業利益は4億1千2百万円と前期比19.3%の増益、経常利益は4億6千7百万円と前期比8.5%の増益となりました。

これに特別利益として投資有価証券売却益4千1百万円、特別損失として固定資産除却損8百万円を計上し、税金費用等1億6千2百万円を差し引きした結果、当期純利益は3億3千7百万円と前期比8.4%の増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

【コンクリート関連事業】

コンクリート関連事業は、売上高は70億2千7百万円（前期比7.5%増収）となりました。

①コンクリート二次製品部門は、売上高は41億7千8百万円（前期比9.9%増収）となりました。

②工事部門は、売上高は4億3千4百万円（前期比11.0%増収）となりました。

③その他の部門は、工事用資材及びコンクリート製品に装着する資材等の仕入及び販売で、売上高は24億1千5百万円（前期比3.1%増収）となりました。

【不動産事業】

不動産事業は、売上高は4千3百万円（前期比9.0%減収）となりました。

部門別の内容部門別の売上内容を表にいたしますと、次のとおりであります。

部門別	第143期（前事業年度）		第144期（当事業年度）		前期比増減(%)
	金額(千円)	構成比率(%)	金額(千円)	構成比率(%)	
コンクリート関連事業					
①コンクリート二次製品部門	3,802,583	57.7	4,178,037	59.1	9.9
②工事部門	391,809	6.0	434,799	6.1	11.0
③その他の部門	2,341,865	35.6	2,415,077	34.2	3.1
計	6,536,257	99.3	7,027,913	99.4	7.5
不動産事業	48,134	0.7	43,814	0.6	△9.0
合計	6,584,391	100.0	7,071,728	100.0	7.4

(2) 当期の財政状態の概況

(イ) 資産

流動資産は前事業年度末に比べ、5億8千6百万円増加し、92億3千9百万円となり、固定資産は前事業年度末に比べ、3億5千1百万円増加し、51億7千2百万円であります。これは主として、売上債権の増加3億7千9百万円、現金及び預金の増加1億8千5百万円であります。

(ロ) 負債

流動負債は前事業年度末に比べ、3億2百万円増加し、26億8千9百万円であり、固定負債は前事業年度末に比べ、1億4千6百万円増加し、8億7千3百万円であります。これは主として仕入債務の増加1億8千8百万円あります。

(ハ) 純資産

純資産は前事業年度に比べ、4億8千7百万円増加し、108億5千3百万円あります。

これは主として、その他有価証券評価差額金の増加3億2千万円あります。この結果、自己資本比率は75.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」と云う）は前事業年度に比べ、1億8千5百万円増加（前事業年度は1億9千6百万円の増加）し、当事業年度末残高は25億8千8百万円となりました。

（現金及び現金同等物の範囲について）

当社のキャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は手許現金・要求払い預金に限定しております。

（営業活動におけるキャッシュ・フローの状況）

営業活動における資金収支は、税引前当期純利益5億円となり、減価償却実施額2億3千5百万円、仕入債務の増加額1億8千5百万円等の資金の増加が、売上債権の増加額3億7千9百万円等の資金の減少を上回ったことにより、資金の増加は4億1千4百万円（前事業年度は7億4千万円の増加）となりました。

（投資活動におけるキャッシュ・フローの状況）

投資活動における資金収支は、投資有価証券の売却による収入1億6千万円等の資金の増加を、有形固定資産の取得による支出2億3百万円等の資金の減少が上回ったことにより、資金の減少は4千2百万円（前事業年度は3億5千2百万円の減少）となりました。

（財務活動におけるキャッシュ・フローの状況）

財務活動における資金収支は、配当金の支払額1億6千2百万円等の資金の減少により、資金の減少は1億8千6百万円（前事業年度は1億9千1百万円の減少）となりました。

(4) 今後の見通し

2024年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、企業の生産活動、個人消費の持ち直し、インバウンド需要の増加により社会経済活動は回復が期待されますが、国際情勢によるエネルギー、資源価格の更なる上昇など、先行きの不透明感が続く状況にあります。

建設土木業界では、「働き方改革関連法」の適用に伴う労働環境問題の課題解決、人材流動化による雇用環境の変化により、国土交通省が進める建設業のICT化によって、現場における生産性向上対策としての現場打ちコンクリートのプレキャスト化が、今後、より一層進むものと予想されます。

こうしたなか、当社は、販売・設計・生産の各部門が一体となって、お客様の声に迅速かつ確にお応えできる体制を構築してまいります。メーカーとして『技術』へのこだわりを持ち、新製品・新工法の開発と実用化に向け、また既存の製品・工法についても更なる品質向上、更なる効率化・多用途化を図るため、研究と技術開発に鋭意取り組みます。

営業においては、受注に繋げる3D技術を駆使した設計織込み活動及び選別受注に注力するとともに、工期短縮に資するプレキャスト化提案など現場のニーズに直結する営業を推進します。製造部門では、重点工場の設備更新を順次実施し、品質向上及び高騰する原材料に対処しつつ、生産効率を高めるなどして原価低減に取り組みます。

次代を担う中核人材の登用等における多様性の確保と育成、若手・中途人材の通年採用、職場環境の改善・整備は、ともに事業活動の基盤となるものであり、引き続き着実に実行します。

収益性向上・経営体質強化に向けては、販管費の節減・棚卸資産の管理強化などを継続して進めてまいります。

2025年3月期の業績につきましては、売上高72億円（前事業年度比1.8増）、営業利益4億2千万円（前事業年度比1.8増）、経常利益4億8千万円（前事業年度比2.6%増）、当期純利益3億2千万円（前事業年度比5.2減）を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者の多くは、国内の株主、取引先等であるため、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,887,434	5,073,332
受取手形	794,910	1,105,244
電子記録債権	698,986	765,700
売掛金	1,125,232	1,128,138
製品	988,377	996,986
原材料及び貯蔵品	92,530	108,724
前渡金	799	399
前払費用	31,170	36,488
短期貸付金	624	206
未収入金	30,489	24,132
未収消費税等	2,599	—
流動資産合計	8,653,155	9,239,355
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	175,590	181,001
構築物（純額）	88,117	86,624
機械及び装置（純額）	178,965	188,299
車両運搬具（純額）	16,547	11,652
工具、器具及び備品（純額）	251,351	243,751
土地	1,677,601	1,677,601
リース資産（純額）	14,324	2,500
有形固定資産合計	2,402,498	2,391,430
無形固定資産		
借地権	61,626	61,626
ソフトウェア	1,347	1,053
電話加入権	7,599	7,599
リース資産	4,703	1,231
無形固定資産合計	75,277	71,511
投資その他の資産		
投資有価証券	991,360	1,177,483
関係会社株式	1,101,309	1,258,429
出資金	1,200	1,200
長期貸付金	4,994	3,000
長期前払費用	5,555	3,603
前払年金費用	162,228	190,930
差入保証金	19,757	19,230
その他	62,105	60,905
貸倒引当金	△5,621	△5,384
投資その他の資産合計	2,342,888	2,709,397
固定資産合計	4,820,663	5,172,339
繰延資産		
社債発行費	6,191	4,643
繰延資産合計	6,191	4,643
資産合計	13,480,011	14,416,338

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	396,273	433,292
電子記録債務	859,737	902,633
買掛金	602,779	711,203
短期借入金	200,000	200,000
リース債務	16,561	3,060
未払金	21,888	47,796
未払費用	39,165	53,354
未払法人税等	98,566	85,395
未払消費税等	—	55,046
契約負債	23,454	71,354
預り金	12,679	10,090
賞与引当金	102,706	116,685
役員賞与引当金	13,500	—
流動負債合計	2,387,311	2,689,913
固定負債		
社債	500,000	500,000
リース債務	4,439	1,355
繰延税金負債	97,732	244,954
退職給付引当金	61,736	63,912
修繕引当金	19,342	19,917
長期預り保証金	43,717	43,137
固定負債合計	726,967	873,276
負債合計	3,114,279	3,563,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,204,900	1,204,900
資本剰余金		
資本準備金	819,054	819,054
資本剰余金合計	819,054	819,054
利益剰余金		
利益準備金	301,225	301,225
その他利益剰余金		
買換資産圧縮積立金	55,200	53,314
別途積立金	4,700,000	4,700,000
繰越利益剰余金	3,010,107	3,178,686
利益剰余金合計	8,066,533	8,233,225
自己株式	△45,211	△45,278
株主資本合計	10,045,276	10,211,902
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	320,455	641,246
評価・換算差額等合計	320,455	641,246
純資産合計	10,365,732	10,853,149
負債純資産合計	13,480,011	14,416,338

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)	当事業年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)
売上高		
製品売上高	3,410,928	3,820,197
商品売上高	2,341,865	2,415,077
工事売上高	391,809	434,799
不動産事業売上高	48,134	43,814
その他の売上高	391,654	357,839
売上高合計	6,584,391	7,071,728
売上原価		
製品期首棚卸高	653,817	988,377
当期製品製造原価	2,390,742	2,378,058
当期商品仕入高	2,209,053	2,278,723
工事売上原価	318,552	335,404
不動産事業売上原価	25,522	25,689
その他の原価	303,088	269,495
合計	5,900,776	6,275,747
他勘定受入高	93,968	104,684
製品期末棚卸高	988,377	996,986
差引	5,006,367	5,383,445
運賃及び荷造費	274,944	325,519
売上原価合計	5,281,311	5,708,964
売上総利益	1,303,079	1,362,763
販売費及び一般管理費	957,469	950,305
営業利益	345,610	412,457
営業外収益		
受取利息	53	51
受取配当金	66,315	75,100
受取保険金	—	10,818
その他	27,292	29,930
営業外収益合計	93,661	115,901
営業外費用		
支払利息	1,665	1,671
社債利息	300	362
支払保証料	1,999	2,005
社債発行費償却	1,548	1,548
廃棄物処理費用	—	35,963
その他	2,957	19,235
営業外費用合計	8,471	60,786
経常利益	430,801	467,571
特別利益		
投資有価証券売却益	31,554	41,198
特別利益合計	31,554	41,198
特別損失		
固定資産除却損	6,307	8,703
特別損失合計	6,307	8,703
税引前当期純利益	456,048	500,067
法人税、住民税及び事業税	160,843	158,090
過年度法人税等	△14,271	△1,276
法人税等調整額	△2,104	5,644
法人税等合計	144,467	162,458
当期純利益	311,581	337,608

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			
				買換資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,204,900	819,054	819,054	301,225	57,190	4,700,000	2,867,452	7,925,867
当期変動額								
買換資産圧縮積立金の取崩					△1,989		1,989	—
剰余金の配当							△170,915	△170,915
当期純利益							311,581	311,581
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	△1,989	—	142,655	140,665
当期末残高	1,204,900	819,054	819,054	301,225	55,200	4,700,000	3,010,107	8,066,533

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△45,211	9,904,610	270,502	270,502	10,175,112
当期変動額					
買換資産圧縮積立金の取崩		—			—
剰余金の配当		△170,915			△170,915
当期純利益		311,581			311,581
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			49,953	49,953	49,953
当期変動額合計	—	140,665	49,953	49,953	190,619
当期末残高	△45,211	10,045,276	320,455	320,455	10,365,732

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計		買換資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	1,204,900	819,054	819,054	301,225	55,200	4,700,000	3,010,107	8,066,533
当期変動額								
買換資産圧縮積立金の取崩					△1,886		1,886	—
剰余金の配当							△170,915	△170,915
当期純利益							337,608	337,608
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	△1,886	—	168,578	166,692
当期末残高	1,204,900	819,054	819,054	301,225	53,314	4,700,000	3,178,686	8,233,225

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△45,211	10,045,276	320,455	320,455	10,365,732
当期変動額					
買換資産圧縮積立金の取崩		—			—
剰余金の配当		△170,915			△170,915
当期純利益		337,608			337,608
自己株式の取得	△66	△66			△66
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			320,790	320,790	320,790
当期変動額合計	△66	166,626	320,790	320,790	487,417
当期末残高	△45,278	10,211,902	641,246	641,246	10,853,149

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	456,048	500,067
減価償却費	234,885	235,178
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△12,819	△26,525
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△136	△236
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,561	13,979
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△13,500
受取利息及び受取配当金	△66,369	△75,151
支払利息及び社債利息	1,965	2,034
支払保証料	1,999	2,005
社債発行費償却	1,548	1,548
固定資産除却損	6,307	8,703
投資有価証券売却損益 (△は益)	△31,554	△41,198
受取保険金	—	△10,818
その他の営業外損益 (△は益)	—	11,626
売上債権の増減額 (△は増加)	900,133	△379,954
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△344,712	△24,802
その他の資産の増減額 (△は増加)	△8,166	5,876
仕入債務の増減額 (△は減少)	△352,726	185,500
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,467	57,646
その他の負債の増減額 (△は減少)	6,744	61,578
小計	787,240	513,554
利息及び配当金の受取額	56,204	63,642
利息及び保証料の支払額	△3,960	△4,059
法人税等の支払額	△99,408	△158,743
保険金の受取額	—	10,818
災害による損失の支払額	—	△10,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	740,075	414,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,485,000	△2,485,000
定期預金の払戻による収入	2,485,000	2,485,000
投資有価証券の取得による支出	△229,488	—
投資有価証券の売却による収入	128,790	160,323
有形固定資産の取得による支出	△249,058	△203,165
無形固定資産の取得による支出	△1,470	—
その他	△826	527
投資活動によるキャッシュ・フロー	△352,052	△42,315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△22,134	△16,584
配当金の支払額	△169,689	△169,921
自己株式の取得による支出	—	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,824	△186,571
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	196,198	185,898
現金及び現金同等物の期首残高	2,206,235	2,402,434
現金及び現金同等物の期末残高	2,402,434	2,588,332

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「コンクリート関連事業」と「不動産事業」の2つの報告セグメントとしております。「コンクリート関連事業」は、コンクリート二次製品部門、工事部門、主にコンクリート二次製品に装着する資材の仕入及び販売を行っているその他部門の3部門で構成されており、「不動産事業」は所有不動産の賃貸収入となっております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	コンクリート関連事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,536,257	48,134	6,584,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	6,536,257	48,134	6,584,391
セグメント利益	375,563	22,611	398,174
セグメント資産	11,020,753	270,145	11,290,899
セグメント負債	2,133,390	41,559	2,174,950
その他の項目			
減価償却費	216,060	2,478	218,539
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	219,882	—	219,882

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	コンクリート関連事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	7,027,913	43,814	7,071,728
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	7,027,913	43,814	7,071,728
セグメント利益	446,711	18,125	464,836
セグメント資産	11,627,587	267,790	11,895,377
セグメント負債	2,395,448	41,554	2,437,003
その他の項目			
減価償却費	219,642	2,355	221,997
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	229,103	—	229,103

4 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	398,174	464,836
全社費用(注)	△52,564	△52,378
財務諸表の営業利益	345,610	412,457

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	11,290,899	11,895,377
全社資産(注)	2,189,111	2,520,961
財務諸表の資産合計	13,480,011	14,416,338

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産であります。

(単位：千円)

負債	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	2,174,950	2,437,003
全社負債(注)	939,329	1,126,186
財務諸表の負債合計	3,114,279	3,563,189

(注) 全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない本社負債であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	218,539	221,997	16,345	13,180	234,885	235,178
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	219,882	229,103	—	—	219,882	229,103

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	788.43円	825.51円
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(千円)	10,365,732	10,853,149
普通株式に係る純資産額(千円)	10,365,732	10,853,149
差額の主な内訳	—	—
普通株式の発行済株式数(株)	13,233,000	13,233,000
普通株式の自己株式数(株)	85,632	85,722
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式数(株)	13,147,368	13,147,278

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益	23.70円	25.68円
(算定上の基礎)		
当期純利益(千円)	311,581	337,608
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	311,581	337,608
普通株式の期中平均株式数(株)	13,147,368	13,147,354

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。